

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	コネクト×さいころ		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 4 月 日 ~ 年 月 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	年 月 日 ~ 年 月 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 5 月 30 日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	
1	多職種にて関わることで、専門性の高い支援や体制を構築できる	それぞれの職種の強みを生かせるような支援の提供。ICT教育に力をいれているため、ほとんどの職員がスイッチ操作ができることも大きな強みとなっている	在籍している職員が継続的にこどもたちの支援に関わることができるように取り組むことで、児童それぞれの特性への理解を深め、多職種で連携を高めることで、より支援の質を高めることができるよう取り組む
2	児童の安心できる居場所づくりと楽しいを提供できる環境づくり	当事業所は職員が担当制についていませんが、職員全員が児童の特性を理解し、支援に関われるよう取り組んでいる	支援に関わる職員も含め、施設内の活動についてこどもたちが自己選択・自己決定できる環境をつくることで、施設の安心感や楽しみを感じられる場づくりに取り組む
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアルの策定や災害被害を想定した定期的な避難訓練等ができていないことについて	当日の児童の体調を考慮しているため、状況に合わせた動きと各マニュアルや避難訓練の案内の発信及び、施設として注視している点などを直接説明できる仕組みづくりを取り組む	
2	家族支援プログラム（ペアトレ）等の研修会が持てないこと	さまざまな特性のある児童の通所で、課題感もさまざまあるため一律的なペアレントトレーニングを実施することが効果的か検討する必要がある	通所する児童・保護者の皆様に必要な情報は随時連絡し、各家庭の児童個別の課題感や支援については、電話や面談等で情報共有させていただき、アドバイス等を行う
3			